



# 2036年愛知環境経営企業100%達成宣言

グループ名：あいちエコビジネス2036

メンバー：井関貴裕・嵯峨寛子・都築政浩・野崎小百合

チューター：薄井智貴・大川秀樹・東海林孝幸

## 現状の把握

### 中小企業の現状

#### ■事業継続（利益）が最優先

- ・環境への取組（節電、節水、廃棄物削減など）目的が経費削減のみ
- ・環境活動は中小企業にとって負担

#### ■愛知県の中小企業：99.7%

#### ■売上高が少ない企業ほど環境報告書等を作成・公開していない



中小企業への環境経営の浸透が重要

## 2036年に向けての提言の概要

### 1 「環境管理システムの構築」

環境マネジメントの壁を突破して、環境経営をスタートさせるため、環境マネジメントに最少の労力で適切に取り組み、環境負荷の見える化を促すため「環境管理システム」を構築する。

### 2 「環境経営の仲間創り」を促進

中小企業が単独で様々な事を行うのは困難であるため、既存のネットワークだけでなく、問題毎のプロジェクトチームや、地域共生のグループなど様々な「仲間創り」が可能になるような場を提供。



愛知県地域全体の企業の環境経営能力向上

## 提案の内容

### 1 「環境管理システムの構築」

- スマートメーターの設置
  - ・電気・ガス・水道などの消費エネルギー管理をICT技術にて自動化
- 廃棄物収集運搬 ICT（情報通信技術）
  - ・事業所からの廃棄物を廃棄物運搬車に積んだ時点で重さを計測し、ICTによるデータを自動記録
- データの見える化「あいち環境経営企業データベース」
  - ・環境負荷データ及びCO<sub>2</sub>排出量の自動記録、自動計算し、データベース化

### 2 「環境経営の仲間創り」

- 協働による温室効果ガス削減
- 緑地の共同管理
- 情報交換、技術・業務提携
- 大手企業・サプライチェーン及びそれ以外のネットワークとの共同環境指針・取組み・教育

施策の財源として「あいち環境経営税」を導入

「あいち環境経営税」：法人格をもった企業を対象に、法人県民税均等割額5%相当を課税。平成31年度までの「あいち森と緑づくり税」を引き継ぐかたちでスタートする。

## 提案実現のための具体的な取り組み（アクションプラン）と実現可能性

### 愛知環境経営企業100%達成への道筋



|  |   |   |  |   |
|--|---|---|--|---|
| <p>2019年<br/>積極的緑化<br/>環境経営<br/>サポート財源</p> <p>2020年<br/>第2次愛知県<br/>環境基本<br/>計画</p> | <p>2023年<br/>電気スマートメーター<br/>設置完了</p> <p>2030年<br/>あいち環境<br/>経営企業<br/>データベー<br/>ス運用開始<br/>情報開示</p> | <p>協働による<br/>温室効果<br/>ガス削減<br/>促進</p> <p>共同緑化<br/>活動の活<br/>発化</p> <p>環境経営<br/>の理解が<br/>進む</p> | <p>2036年<br/>環境 マネ<br/>ジメント<br/>浸透</p> <p>全ての企<br/>業が環境<br/>経営の<br/>スタートラ<br/>インに！</p> | <p>未来の愛知<br/>イノベー<br/>ション</p> <p>ビジネス創<br/>出</p> <p>新たな<br/>ライフスタ<br/>イル</p> <p>CO<sub>2</sub><br/>大幅削減</p> |
|--|---|---|--|---|

## 波及効果

### 環境マネジメントシステム

- ・県が環境基本計画でのデータ利用（見える化）
- ・愛知ブランドイメージの向上
- ・省エネによる経費削減の効果
- ・環境マネジメントの人的負担を減らす
- ・企業の信頼性が増すことで本業への利益

### あいち環境経営税

- ・積極的な緑化でCO<sub>2</sub>を吸収を促進
- ・空き家や空き地問題の解決
- ・緑化したコミュニティスペースでより良い住環境を提供
- ・木質エネルギー、木材などの活用を促進

